4 月会議議事録

日　時：2020 年 4 月 25 日(土)14：00～16：30
会　場：Zoom にて
参加者：吹雪ビュン、石川 kenjiro-、鈴木勇介、松田直也、花鈴、小池友子
概　要：HP 進歩の確認、登録項目の確定
　　賛助会員の優遇措置の整理
　　NEW 演劇祭についての課題洗い出し、検討
　　今年の方向性について

1、HP 進捗

・完成時期:6 月中　登録用フォーム作成方式

・登録項目について
　〇公演日カレンダー：タイトル、日程、会場、団体（主催者）、料金、出演、スタッフ
　　チケット取り扱い、web サイト、チラシ画像、みどころ、あらすじ

　〇戯曲：作者名、タイトル、ジャンル（種類）、人数（男女比も）、上演時間目安、あらすじ、
　　著作権使用料、連絡先（メールアドレス）
　　【ジャンル分けについて】
　　ラブストーリー　感動もの　お笑い　ミュージカル　サスペンス　青春もの
　　時代劇　SF　ファンタジー　シリアス

・劇団情報収集状況について（各地域）：5 月一杯を目途に収集する

・戯曲掲載について
　└掲載手数料を設定（案：1 回/1,000 円）→賛助会員は 1 回目無料

・保守体制
　大幅な改修：伊藤穂
　軽微な変更・更新：鈴木勇介

賛助会員（年更新）の優遇措置の整理 〇演劇りーぐ HP 公演情報に掲載されている公演で、りーぐ！に協力してくれる公演を 1 回無料で観劇できる （1 年(1 口)で 1 回）。 〇掲載手数料を設定（案：1 回/1,000 円）→賛助会員は 1 回目無料

2、NEW 演劇祭について（継続課題）

◆ショートステージの複数上演のミニ演劇祭案

・上演時間　：公演時間が１回 30 分程度
・ターゲット：初心者、隣県もターゲットに。メインは県内。
・資金面　　：りーぐ！からの拠出や助成金を取るなど。
※収支のバランスを考え、継続させるべき。
※参加者と主催者の負担の分担バランスをどう考えるか。
※会場の確保、基軸となる開催分母（例：山形ワンコイン演劇祭における全力演劇）が必要。
県内各地で行うのであればその土地土地に。
└2021 年度開催を目指す。2020 年度は種まき（会場検討・組織作り）

HP 掲載について懸念されること（新庄演劇研究会さまより）
〇ホームページに掲載ある団体がマネジメント支援や情報提供を惜しまない、という風に受け取られないか。
→掲載方法として閲覧した人に誤解は招かないと思われる。
〇経費を誰が払うか。
→掲載にあたって経費負担は劇団側には無し。
〇よその団体から人とお金を集めてプロデュース公演することが、地元劇団の亀裂や分裂の原因にならないか。
→基本的にはプロデュース公演を開催する際の主体者が考えるところ。だが、亀裂や分断を助長するためにやまがた演劇りーぐ！が活動するわけではない。
〇地域の劇団の自立と主体性を最重視することを基盤にした連携や協力であれば賛成。
→完全に同意。

◆本格的演劇祭案について
・１～２時間の公演・WS・ショート作品もあり（参考：仙台の卸町アートマルシェ）
※ステージ機能のある劇場の協力必須
最上エリアで使用できそうな会場の例
①新庄市民文化会館
②新庄市民プラザ
③レキシントン(新庄信金)
④ゆめりあ(新庄駅)
⑤こらっせ新庄
⑥山形現代美術館
⑦あじさいステージ（半野外）
└最上に限らず各地域にて候補会場を整理しておく。種まきとして、企画として取り上げてもらうことは出来ないか等、新型コロナウイルスの感染症の状況が落ち着いたら各地域の担当者が会場に働きかけを行っていく。

◆コンテスト案
・コンテストにする（参考：劇王）
→各上演作品が点数化され、劇団のブラッシュアップが期待できる

３、今後やるべきこと

・NEW 演劇祭の懸念事項の検討
・各地方の会場状況についての報告
・各地域の劇団情報の共有
・賛助会員の受け入れ態勢の検討

・新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くまでは、定例会議はお互いの安全のためオンラインで開催する。

次回会議は 6 月上旬に ZOOM で開催予定。
参加希望の方は、ymgtengekileage@gmail.com までご一報ください。